

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会

〒270-1325
印西市竹袋614-9 印西市総合福祉センター内

☎0476-42-0294

FAX 0476-42-0338

E-mail info@inzaishakyo.jp

URL http://www.inzaishakyo.jp

子ども向け

福社の耳より
だより

ふくみみ

ナンバー
No.2

地震・火災・水害 災害に備えていますか？

いよいよ待ちに待った夏休み！ 皆さんは夏休みをどのように過ごされますか？ 家族で旅行をしたり、友達とプールに遊びに行ったり、お祭りや、おじいさん、おばあさんの家に遊びに行くなど、いろいろなことがたくさんあることと思います。楽しい思い出が出来ると思います。



ところで、楽しい夏休みが終わる、2学期が始まる9月1日は【防災の日】です。

【防災の日】は、大正12年のこの日に起きた関東大震災により家が倒れたり、火災などが起き、たくさんの方の命が奪われた、この日の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて昭和35年に制定されました。

日本では、その後も阪神淡路大震災(平成7年)や新潟中越地震

【災害ボランティア】の手助けをしてください。

【災害ボランティア】とは、地震や水害などの災害が起こったあとに、その地域において

また、災害救援ボランティア(セーフティリーダー)や、日本赤

十字社の防災ボランティアなど、地震などが起こったとき専門的知識を身につけたボランティアも、被災地で共に協力しながら、みんなの助けにあたっています。学校では、災害に備えて避難訓練などが行われると思いますが、まずは、自分の身を守る事が大切です。みなさんは、災害が起こったときに何か備えをしていますか？

これだけは用意しておきたい 非常持ち出し袋の中身



この他にも・・・
靴下、軍手、下着類、トイレトペーパーやウェットティッシュなどがあると便利です。



家族と一緒に確認してみたいかがでしょうか？

一緒にうちのひとと、いっしょにゆんでみましょう！

ふくみみ

トピックス

災害ボランティアセンター 【さいがいぼらんていあせんたー】

おもに、災害が起こったとき、ボランティア活動をうまくすすめるための組織です。災害ボランティアセンターでは、全国から集まる支援ボランティアの登録手続き（活動保険など）や、災害にあった方が避難生活を送る中で、どのようなことに困っているか調べたり、要望を伺ったりします。

その内容をもとに、集まったボランティアさんにいろいろな活動をお願いし、復興にむけた手助けをおこないます。

ボランティア活動は、専門の知識がなくてもおこなえますが、ボランティアをおこなっていくうえで、活動中の自分の生活【衣食住（着るもの、食べるもの、住む（寝る）ところ）】などは、すべて自分で用意しなければならないのです。

また、そのようなことを手助けすることも、災害ボランティアセンターのしごとの一つでもあります。（社会福祉協議会では、災害ボランティアについての講座をおこなっています。ぜひ、親子で参加してみませんか？）

地域と小学校の交流会を 紹介します!!



ふれあい交流会 ユニカール大会（ニュータウン中央南支部主催）
6月18日（木） 場所：原山小学校



社会福祉協議会では、市内を6つにわけて、各地区に支部社協をおき、地域のボランティアさんがいろいろな福祉活動を行っています。今回は原山小学校と地域の高齢者の交流会を紹介しました。ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。

ニュータウン中央南支部では、高花小、内野小の2校でもユニカール大会を開催しています。また、他の支部も、小学校などとの交流事業を行っています。

【ふくみみ】ってなに？ ・みみたぶのおおきいみみ ・しあわせをはこぶみみ ・しあわせがあらわれているみみ…をいいます。